

ろっぽうの通信

【発行】
たじま医療生活協同組合
理事長 前田 貞夫

【連絡先】
〒668-0851
兵庫県豊岡市今森465番地の1
ろっぽう診療所 ☎ 24-7007
ホームページ
<http://www.interq.or.jp/white/roppou/>

第96号 2011.7.15

福島原発事故をどう見るか

—重大事故なのに後手後手の対応—

「原発事故問題」学習会



郷地秀夫医師

東神戸診療所所長
原爆症訴訟支援ネット・兵庫共同代表



7月2日、豊岡市民会館において東神戸診療所所長であり、但馬の被爆者相談会でお世話になっている郷地秀夫先生の原発事故問題学習会「被爆者医療からみた福島原発事故」が開催され、約100名が熱心に聴講しました。

郷地先生の講演紹介
私はこれまで原爆被爆者の方々約2000人の診療に携わっており、また、7年前から原爆症認定集団訴訟にかかわってきました。

日本政府は、「原爆放射線障害と健康状態は関係ない」と被爆者の病気が癌であろうと難病であろうと関係ないという政策をとってきました。被爆者の方は、「私の苦しみは何だったのか」と60年間苦しんでこられました。

私はこの度の福島原発事故の発生が報道されてきたときから、同じ放射線障害の問題として原爆被害と合わせながら注目してきました。

事前にくいつかの質問をいただきましたが、放射能の汚染状況を判断するには圧倒的に情報が不足している。また、事故以来の政府の発表はきわめて不十分です。真実を国民



午前中に5名の被爆者を迎えて被爆相談会を開催しました。

に知らせていないように思えます。

メルトダウン（炉心溶融）という重大事態の発表に2ヶ月かかっています。

また水素爆発が起こり、放射性物質の飛来や格納容器破損が予想されるのに「格納容器は壊れていない」と発表しました。原発の素人が考えてもこんなことはおかしいと思いました。

放射線量の測定もガンマ線だけです。より危険なアルファ線、ベータ線、中性子線は測定していません

放射線障害は何十年もたつてから出てきます。とりわけ幼児や子どもへの影響は重大です。よりよい地球環境を子どもたちに残すことが肝要です。

運動を広げて を作ろう!

ージ

トルビル多目的ホール



前田理事長あいさつ

昨年の総代会以降組合員の総数がいよいよ3千名を超えるところまで来た。組合員のそれぞれの力が目に見えて大きくなくなってきている。老人世帯マップ作りや支部内外での生き生きとした活動が活発になってきている。また、このたびの東日本大震災に医療生協から5名の支援を送り出すことができたことに誇りに思う。



前田貞夫理事長

来賓挨拶

■**県連医師対策担当として藤井所長に続く医師確保を**

中知枝兵庫県民主医療機関連合会事務局次長(県連常任委員会を代表して)



中知枝さん



村岡峰男さん

■**16年前の総代会は阪神大震災今回は東日本大震災・原発事故、それを乗り越える討論を**

村岡峰男日本共産党但馬地

区委員長 議案提案

西垣栄専務と事務局が2011年度の事業と運動のすめ方を提案。

■「保健学校」参加の訴え 川戸宏子理事

保健学校参加の呼びかけ

■「長期計画」の中間報告 朝宣宣征副理事長

新たな介護事業所検討委員会の答申を踏まえて今後の進むべき提案がされました。

■仲間増やし年間目標達成 支部表彰

10年度仲間増やし、年間目標を達成した神美・新田中筋・鶴城の3支部に理事長より表彰状・金一封が送られました。



年間目標達成支部表彰
(新田・中筋支部)

討論

■東日本大震災支援活動に参加して

西垣善之総代(亀城支部)
東日本大震災支援活動に参加して避難所・仮設住宅をまわって対話を重ね、被災者の

特別発言

藤井高雄(ろっぽう診療所所長)

私は職員の募集について訴えます。いま訪問看護はフル回転です。訪問看護師とケアマネージャーの不足は重大です。診療所の私の仕事も手いっぱいです。月55名を診て回っていますが、依頼はあってもこれ以上受けられない状態です。

医師2人体制をとりたいと考えます。医師の紹介もよろしくお願いいたします。有力な方の紹介をお願いいたします。「事務職員」の増員も重要です。先々、事務職員の幹部となる方を紹介してほしいのです。

要求を聞き取りそれらに応えられるよう活動をしてきました。その中で医療生協に対する感謝の声を多く聞きました。そして、自分自身がこの支援の機会を与えてもらった医療生協に入っていて本当に良かったと思っています。



村岡廣子理事

■月1回のグランドゴルフ 班会で元気に

田中千代野総代(神美支部)
月1回グランドゴルフ班会を立ち上げ、支部を超えた交流をしている。その中で仲間増やしをやっています。



西垣善之総代

■喫茶店を始めて4年余り

村岡廣子理事(新田中筋支部)
喫茶店を始めて4年余りになる。それぞれが手芸や、花などを持ち寄って得意な分野を生かしてきている。また、ろっぽう通信の仕分け、手配りが現在では、50名近い組合員や職員が参加するまでになってきている。先日、健康班会「和みの会」を11名の参加で発足しました。



田中千代野総代

■マップ作りで老人所帯への の一声かけ運動を

中島嗣夫総代(鶴城支部)
通信教育講座を通じて支部活動活性化と組合員や、老人所帯への一声かけ運動を進めていきます。

ひとびとのきずなを強め事業と 安心して住み続けられるまち

全国43事業所団体からメッセー 第16回通常総代会 6月18日(土) 但馬空港ターミナル



中島嗣夫総代

■住民運動で成果

藤原敏憲総代（やぶ支部）
養父市議会への二つの請願署名の取り組みを通じて、医療生協をより多くの人に知ってもらうため活動を展開している。



藤原敏憲総代

■利用者により信頼してもらえる事業所を

山崎順子総代（居宅介護支援事業所・えがお）
超高齢者社会を目前に控えて利用者により信頼してもらえる事業所を目標にさらに職員研修などをすすめレベルアップを図っていききたい。また、新たな人材確保のために魅力ある職場めざしがんばっていききたい。

■お母さん方と一緒に予防接種のスケジュールを

彦坂陽子総代（ろっぽう診療所）
ヒブ・肺炎球菌やなどの小児の予防接種のスケジュールをお母さん方と一緒に組んで

いつている取組みが好評。今年度も予防接種で防げる病気から子供を守っていききたい。

■大型ごみ処理施設の危険性を訴え

西村恒彦総代（きたみ支部）
竹野の北但ごみ処理施設は、原発と同じで危険だ。医療の予防と同じで、ごみ問題学習会を成功させて、問題が起こる前にやめさせるよう今後も取り組んでいきたい。



西村恒彦総代

■在宅での看取りを可能にした看護

小西陽子総代（訪問看護ステーションえがお）
学術運動交流集会において発表した内容「在宅での看取りを可能にした看護」をスライドを交えて発表しました。



保健学校子育て支援講演会
「子どものアレルギー性疾患はなぜ増え続けてきたのか」
東神戸病院森岡芳雄医師を迎えて

6月30日市民会館大会議室にて、会場いっぱい参加者に対して、アレルギーについて正しい理解のための講演が行われました。



アレルギー性疾患は、遺伝的な要素と生活環境的な要素の上に免疫機能や自律神経機能の低下など様々な要素が絡み合っており、その疾患の発症は人それぞれであり、しかも多くの場合一つの症状だけではなく、アレルギー性疾患の発症率が高いのは子どもが未熟で未発達のためとも言われました。また、現代生活の中にはアレルギー性疾患を増大させるようなことが沢山あり、特に今回はその中でも、食物アレルギーから見た現代日本の食生活の問題点について語っていただきました。

講演後の具体的な悩みについて、会場では先生とのやり取りが盛況でした。先生のご指導により、アレルギーがあることで、家の食生活が見直せ、豊食の中、添加物にまみれた生活に流されずにいます。息子に食の大切さを伝えていきたいと思えます。

★とてどもわかりやすく教えていただきました。娘のアレルギーで毎日の食事の準備が大変でしたが、がんばろうという気持ちが湧いてきました。（和田 邦子）

第11期保健学校子育て支援講座第3講座

日時7月21日(木) 午後2時～3時30分
場所コープデイズ豊岡3階

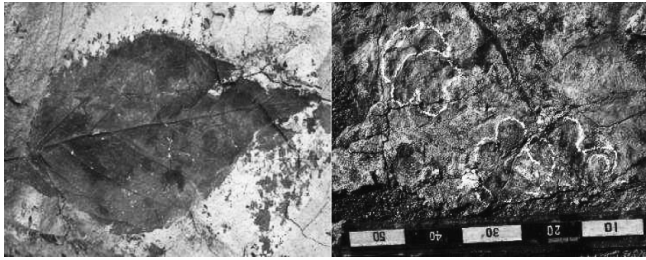
「豊かな体験を積み重ねる夏休みに」
たじま医療生協副理事長森垣修（元小学校教師）

山陰海岸ジオパークシリーズ5

<第5回：豊岡盆地の特徴①>

元高校教師
三木 武行

豊岡市日高町やコウノトリ但馬空港から奈佐地区にかけて広く辻礫岩層（火山性堆積物を含む礫岩）が分布し、下陰区には砂岩・泥岩・凝灰岩などの淡水性堆積岩が分布しています。2010年（平成22年）、下陰区から植物化石と共にサイ・シカなどの足跡化石が多数見つかりました。



ゾウ・サイなどの大型哺乳類の足跡化石は香美町の香住海岸・村岡区川会・豊岡市の竹野海岸・竹野町中村区などからも同じ層準から産出しています。竹野海岸から産出したゾウの歯から約2000万年前のアジア大陸に生息していたステゴロフォドンという種であることが判明しました。植物化石は立ち木の株のメタセコイアやフウ・ウリノキなどの葉化石でした。豊岡は約2000万年前アジア大陸の端にあり、火山が近くで活動する湖の環境にあったと思われます。木立の中をゾウ・サイ・シカなどの大型哺乳動物が集まっていたことでしょう。（日本海がまだできていない時代です。）

豊岡盆地では地下40mにアジア大陸時代の花崗岩や流紋岩があり、その上に厚さ40mの堆積物があります。地下30m付近では海生貝化石が産出したり、約1万年前のウツリヨウ隠岐火山灰が含まれたりしています。そして約6000年前には縄文海進といって現在より海面が4mも上昇していました。そのため豊岡市中谷や長谷・香住には縄文時代の貝塚が見つかっているのです。

約2万年前の地球は最終の氷期で、海面が現在より100m以上も低くなっていました。即ち、豊岡は谷合いの地域だったのですが次第に海面が高くなり、土砂に埋め立てられたこととなります。（次号へ続く）

第11期保健学校
若いお母さんのための
子育て支援講座第2講座

前回に引き続き、子育てを応援するための講座を、5月17日コープデイズで開きました。

まず初めに、豊岡市健康増進課の保健師、福富さんが「上手な予防接種の受け方」について話してくださいました。

その中で、豊岡市は県下でも予防接種の達成率が大変低いこと、先進国では同時に多

くの予防接種をしていることなどがわかりました。

次に、ろっぽう診療所の彦坂看護師長が、「予防接種のプラン作り」と題して、予防接種のスケジュールをつくるためのポイントを話しました。

引き続き、3人の看護師により、個別に母子手帳を見ながら相談会がもたれました。

参加のお母さん達からは「予

防接種の副作用が気になっていましたが、それより、病気にかかって重篤になることのほうが大変で、予防接種を受けることの大切さがよくわかりました。」

★「仕事への復帰のこともあり、早めに予防接種を受けたいと思っていました。計画的にしっかりとプランを立てていただき、ありがたかったです。」

★「自分が今までやってきた予防接種が、いい具合に出ていたことが確認できて、よかったです。」



などと喜びの声をいただきました。
次回の子育て支援講座も楽しみです。
(和田邦子)

ろっぽう診療所 診療体制

内科・小児科・リハビリテーション科
電話 24-7007 (2011年7月現在)

	月	火	水	木	金	土
午前診療 9時～12時	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井
午後診療 2時～4時	(往診)	(往診)	(往診)	(往診)	(往診)	
夜間診療 5時～7時			藤井		藤井	

介護事業所 えがお

〒668-0852 豊岡市江本396-1 101号・102号

- 居宅介護支援事業所えがお TEL 0796-24-7013
FAX 0796-24-6154
- 訪問介護ステーションえがお TEL 0796-24-6144
FAX 0796-24-6154
- ヘルパーステーションえがお TEL 0796-24-4731
FAX 0796-24-4733
- 訪問入浴サービスえがお TEL 0796-24-4731
FAX 0796-24-4733